

無心所著の歌二首

三八三八番

我妹子がわぎもこ 額ひたひに生おふる 双六すごろくの 牡ことひの牛うしの 鞍くら
のうへ上の瘡かさ

三八三九番

我が背子せこが 犢鼻たふさきにする 円石つぶれいしの 吉野よしのの山やまに
氷魚ひをそ懸さがれる

池田朝臣、大神朝臣奥守を嗤ふ歌一首

三八四〇番

寺々てらてらの 女め餓鬼がき申まをさく 大神おほみわの 男を餓鬼がき賜たまりて
その子産こうまはむ

大神朝臣奥守の嗤ひに報ふる歌一首

三八四一番

仏造ほとけつくる ま朱そほた足たらずは 水溜みづたまる 池田いけだの朝臣あそが
鼻はなの上うへを掘ほれ